



## 地方自治の進展に貢献

### 荒井安德氏 阿蘇品忠實氏に旭日単光章



▲荒井氏（写真左）と阿蘇品氏（写真右）

化と経費の節減合理化を訴えるなど適正な財政運営、住民福祉の向上に尽力されました。

阿蘇品氏は一の宮町議会議員として経済常任委員会副委員長、民生文教常任委員会委員長などを歴任し、昭和58年から平成11年の4期16年にわたり在職。また、農業委員会委員及び阿蘇畜産農業協同組合理事として、阿蘇地域における畜産業をはじめとした農業の普及と発展に尽力されました。

町議会議員などを歴任し、地方自治の進展に大きな功績を残したとして、荒井安德氏（88歳、狩尾3区）、阿蘇品忠實氏（88歳、古城3の1区）が、それぞれ旭日単光章を受章され、9月6日、阿蘇市役所で叙勲伝達式が行われました。

荒井氏は阿蘇町議会議員として建設常任委員会委員、経済常任委員会委員などを歴任し、昭和49年から昭和61年の3期12年にわたり在職。当時の財政状況下において財政効率

## 秋祭りに神秘の灯り。

### 手作り灯籠400個

拝殿で行われた中江神楽奉納の様子



国造神社の田実祭（9/23）では毎年、露店や映画鑑賞など地元手作りの秋祭りが行われています。昨年より神楽の奉納も始まり、歴史ある神社拝殿で宵の舞を披露。また神社とその周辺に灯された、手野名水会（山城今朝雄会長）による灯籠も幻想的で、神の舞と灯りが訪れた人たちを魅了しました。灯籠は、古城保育園と古城小学校の皆さんが願い事を描いた和紙で作られており、火を点すと絵が浮かび上がる仕掛けでした。



岩戸を開き出る天照大神を見事に演じた山部瑞葵さん(古城小3年)



▲国造神社を幻想的に演出した400の灯籠

## 名月と音楽との夕べ



第15回阿蘇観月茶会（実行委員長小嶋維男氏）が9月25日、農村環境改善センターで行われ、多くの来場者で賑わいました。来場者は、地元の茶道教室の皆さんが点てたお茶をいただきながら宵闇を待ち、名月が浮かび上がると思い思いの鑑賞に浸りました。

また会場では、観月茶会の初代実行委員長竹原幸範氏の長女で、シンガーソングライターの福居悠子さん（大津町）によるミニコンサートが開かれ、阿蘇をテーマにした曲などが熱唱されました。内牧を想った曲もすばらしく、満員の会場から大きな拍手が送られました。



◀コンサートの様子。曲の合間、「世界のカルデラに浮かぶ月は世界一の月だと父から教わりました」と、阿蘇のすばらしさを話す福居さん。

▶小さな茶道家もお茶の接待に挑戦しました。

